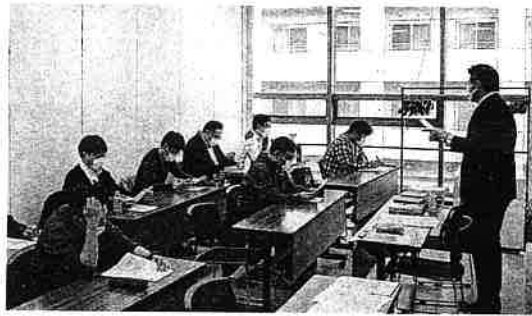


# 資格取得を目指せ

## 道設備設計事務所協会が受験研修



来年の資格取得に向け、スタートを切った

北海道設備設計事務所協会（山田修会長）は6日、札幌市内のエルプラザで2022年の建築設備士受験に向けた受験研

修会を開き、参加した11人が資格取得に向け、スタートを切った。同協会は08年から資格の取得を支援する目的で

研修会を開始。22年3月19日まで10回の研修会と5月14日の模擬試験を予定し、6月下旬の一次試験に備える。

堀井淳史技術委員長は「近年、出題傾向が変わっている。問題数が105問に増え、4択に変更。合格ラインも基準点で70点上がった」として、「勉強時間を確保し、過去問を解くことが大事。持ち込みできる法規集を引く練習もして偏りなく得点できるように努めてほしい」と呼び掛けた。続いて試験に向けて準備すべき書籍について解説。建築設備士学科問題解説集と建築設備関係法令集の2つが必須で、問題解説集は5年前のものも入手して過去10年分を3回以上、できれば5回は解いて、それぞれの工夫で頭に入れ、受講者同士の情報交換もして合格を勝ち取るよう伝えた。この後、受講者は昨年の試験問題を解き、試験の雰囲気をつかんだ。